



令和4年12月19日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」 2022年度第4回公募における交流計画の採択について

JST（理事長 橋本 和仁）は国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）一般公募プログラムにおいて（参考）、2022年度第4回公募により採択する交流計画を決定しました。

2022年度第4回公募は、2022年9月1日（木）から11月4日（金）までの期間に合計43件の申請があり、国際青少年サイエンス交流事業選考委員会（委員長：三木千壽 東京都市大学 学長）による審議を経て、さくら招へいプログラム29件（申請件数40件）、さくらオンラインプログラム2件（申請件数3件）の採択を決定しました（別紙1、2、3）。

新型コロナウイルス感染拡大への対応として、さくら招へいプログラムにおける交流計画の実施にあたり、日本、送出し国・地域、受入れ機関、送出し機関の出入国・行動制限などに関わる方針・規制などに適合しているかを受入れ機関が確認し、JSTが合意することとしています。また、年度内に招へいが実施できない場合には、代替としてのオンラインでの交流を実施することとしています。

「さくらサイエンスプログラム」のホームページには、関連情報や過去の活動報告も掲載しています。

URL <https://ssp.jst.go.jp/>

### <添付資料>

- 別紙1：2022年度第4回公募採択結果 交流計画一覧
- 別紙2：2022年度第4回公募採択結果 国・地域／コース／属性別人数
- 別紙3：2022年度第4回公募採択結果 機関別 採択件数
- 参 考：2022年度 国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）一般公募プログラム概要

### <お問い合わせ先>

科学技術振興機構 経営企画部 さくらサイエンスプログラム推進本部  
〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3  
石黒 傑（イシグロ スグル）  
Tel：03-5214-8997 Fax：03-5214-8445  
E-mail：[ssp.press\[at\]jst.go.jp](mailto:ssp.press@jst.go.jp)

## 【さくら招へいプログラム】

※新規送出し機関名は赤字

No.	交流計画のテーマ	コース	受入れ機関名	送出国・地域名	送出し機関名・属性別人数
1	航空機電動化の最先端と雪国秋田を堪能できる交流プログラム	A (科学技術体験)	秋田大学	マレーシア：11人	[マレーシア工科大学] 大学生：9人、教員：1人、研究者：1人
2	環境問題の改善に貢献する人材の育成	A (科学技術体験)	大阪公立大学	ベトナム：11人	[ベトナム国家大学ホーチミン市科学大学] 大学生：8人、大学院生：2人、教員：1人
3	日本とASEAN諸国における食循環型社会構築と生物資源の有効活用に向けた課題解決プログラム	A (科学技術体験)	大阪公立大学	タイ：7人 ベトナム：7人	[カセサート大学] 大学生：2人、大学院生：4人、教員：1人 [カントー大学] 大学生：2人、大学院生：4人、教員：1人
4	光合成生物の構造・機能・生理に関する研究	A (科学技術体験)	岡山大学	インド：8人	[ノースイースタンヒル大学] 大学院生：6人、教員：1人 [ノースイースト科学技術研究所] 研究者：1人
5	ベトナム北部有名医療系大学との先端歯学研究交流事業	C (科学技術研修)	岡山大学	ベトナム：5人	[ハイフォン医科薬科大学] 研究者：3人 [ハノイ医科大学] 研究者：2人
6	生体適合表面処理工学を中心とした医学との共同研究活動	B (共同研究活動)	関東学院大学	韓国：7人	[カトリック関東大学校] 大学生：7人
7	情報人材育成プログラム	A (科学技術体験)	北見工業大学	モンゴル：11人	[新モンゴル工科大学] 大学生：10人、教員：1人
8	ドローン製作体験型国際交流インターンシップ	A (科学技術体験)	芝浦工業大学	スリランカ：11人	[ワヤンバ大学] 大学生：7人、大学院生：3人、教員：1人
9	材料工学分野の研究室ワークショップ	A (科学技術体験)	芝浦工業大学	米国：11人	[ディラード大学] 大学生：10人、教員：1人
10	最先端の実験装置を用いた金属合金の組織解析	C (科学技術研修)	島根大学	ベトナム：2人	[フェニカー大学] 大学院生：1人 [ハノイ工科大学] 大学院生：1人
11	薬用資源の保全と活用のためのさらなるネットワーク形成を目指して	A (科学技術体験)	崇城大学	メキシコ：5人	[メトロポリタン自治大学] 大学院生：4人、教員：1人
12	メカトロニクス分野における日本の先端科学について学ぶ体験交流	A (科学技術体験)	中央大学	ブラジル：11人	[サンパウロ大学] 大学生：5人、大学院生：5人、教員：1人
13	持続可能性と健康を両立する都市の実現に向けた日中連携型研究教育体制の模索	A (科学技術体験)	中央大学	中国：11人	[上海理工大學] 大学生：5人、大学院生：5人、教員：1人
14	植物バイオテクノロジー分野における日本の先端科学技術について学ぶ体験交流	A (科学技術体験)	筑波大学	インドネシア：11人	[パジャジャラン大学] 大学生：8人、大学院生：2人、教員：1人
15	日台の理工系学生交流による電気加工技術の体験プログラム	A (科学技術体験)	東京農工大学	台湾：18人	[国立台湾師範大学] 大学院生：5人、教員：1人 [国立高雄科技大学] 大学院生：5人、教員：1人 [国立中央大学] 大学院生：5人、教員：1人
16	建造物の健全性診断のための分布型ブリリアン光ファイバセンサーの高速高精度化	B (共同研究活動)	東京農工大学	マレーシア：2人	[マレーシア国民大学] 大学院生：1人、教員：1人
17	高温耐性DNA結合タンパク質Cre7の単分子蛍光機能解析	B (共同研究活動)	東北大学	インド：2人	[インド科学教育研究大学ティルパティ校] 大学院生：1人、教員：1人
18	「農免疫」を基盤とした農畜水産物の健全育成と食の安全	A (科学技術体験)	東北大学	台湾：11人	[台北医学大学] 大学院生：10人、教員：1人
19	水質汚濁が進んだ河川水から安全・安心な水道水を製造するための膜分離技術を学ぶ	A (科学技術体験)	長崎大学	ベトナム：9人	[フエ科学大学] 大学生：8人、教員：1人
20	遺伝子組換え動物を用いた感染免疫研究の体験～共同研究の継続に向けて～	A (科学技術体験)	長崎大学	インド：6人	[チャンドイガル医学教育研究大学院] 大学院生：5人、教員：1人
21	包括的な高齢者ケア	A (科学技術体験)	新潟医療福祉大学	ベトナム：5人	[ハイズオン医療技術大学] 教員：5人
22	科学技術イノベーションに関する交流：日本大学工学部におけるロハス工学の研究紹介	A (科学技術体験)	日本大学	インドネシア：11人	[ディポネゴロ大学] 大学生：9人、教員：1人、研究者：1人
23	持続可能な都市発展のための良好な都市環境形成と社会の合意形成の技術を学ぶ	A (科学技術体験)	横浜市立大学	タイ：9人	[タマサート大学] 大学生：8人、教員：1人
24	海外短期モノづくり留学生に対するロボット関連教育と技術修得	C (科学技術研修)	サレジオ工業高等専門学校	フィリピン：11人	[カリタスドンボスコスクール] 高校生：10人、教員：1人
25	「エネルギー」・「食」・「人」から持続可能な未来社会の形成を考える～シンガポール、タイ、モンゴル、日本の多国籍ワークショップ～	A (科学技術体験)	函館工業高等専門学校	モンゴル：5人 シンガポール：8人 タイ：5人	[新モンゴル学園高専] 高校生：4人、教員：1人 [テマセクポリテクニク] 高校生：4人、教員：1人 [ナンヤンポリテクニク] 高校生：3人 [プリンセスチュラポーン科学高等学校チョンブリー校] 高校生：4人、教員：1人
26	アジアの高校生が地球規模課題にサイエンスで挑む	A (科学技術体験)	茗溪学園中学校高等学校	タイ：11人	[シーナカリンウィロート大学プラサナムット付属校 (中等部)] 高校生：10人、教員：1人
27	日本とフィリピンの海洋・地球科学共同研究の機会創出	A (科学技術体験)	国立研究開発法人海洋研究開発機構	フィリピン：7人	[フィリピン大学ディリマン校] 大学院生：6人、教員：1人
28	林木育種および林木遺伝資源保全に関する技術	A (科学技術体験)	国立研究開発法人森林研究・整備機構	モンゴル：6人	[モンゴル科学技術大学] 大学生：2人、大学院生：3人、教員：1人
29	医薬品研究開発における日本の先端イノベーションを学ぶ体験・発見交流	A (科学技術体験)	ファイザーR&D合同会社	米国：7人	[オースティンインデペンデントスクールディストリクト] 高校生：6人、その他：1人

合計29件 受入れ機関：22機関（15カ国・地域）

【さくらオンラインプログラム】

※新規参加機関名は赤字

No.	交流計画のテーマ	実施機関名	参加国・地域名	参加機関名・属性別人数
1	健康長寿社会実現のためのバイオ×ITエンジニア育成スクール	京都工芸繊維大学	カンボジア：9人 ラオス：4人 ミャンマー：3人 ベトナム：39人	[カンボジア王立ブノンベン大学] 大学生：8人、教員：1人 [ラオス国立大学] 大学生：3人、教員：1人 [マンダレー工科大学] 大学生：2人、教員：1人 [ハノイ工科大学] 大学生：5人、教員：1人 [カントー大学] 大学生：10人、教員：2人 [ベトナム国家大学ホーチミン市校科学大学] 大学生：10人、教員：2人 [ハノイ医科大学] 大学生：8人、教員：1人
2	日本における科学普及政策と制度の発生および発展の現状	一般社団法人日中協会	中国：20人	[甘肅省科学技術庁] 研究者：4人 [甘肅省生産力促進センター] 研究者：16人

合計2件 実施機関：2機関（5カ国・地域）

## 【さくら招へいプログラム】

(単位：人)

国・地域	コース・属性	コース			招へい者属性						合計
		A. 科学技術体験	B. 共同研究活動	C. 科学技術研修	高校生	大学生	大学院生	教員	研究者	その他	
東南アジア	インドネシア共和国	22				17	2	2	1		22
	シンガポール共和国	8			7			1			8
	タイ王国	32			14	10	4	4			32
	フィリピン共和国	7		11	10		6	2			18
	ベトナム社会主義共和国	32		7		18	8	8	5		39
	マレーシア	11	2			9	1	2	1		13
南西アジア	インド共和国	14	2				12	3	1		16
	スリランカ民主社会主義共和国	11				7	3	1			11
東アジア	大韓民国		7			7					7
	台湾	29					25	4			29
	中華人民共和国	11				5	5	1			11
	モンゴル国	22			4	12	3	3			22
中南米	メキシコ合衆国	5					4	1			5
	ブラジル連邦共和国	11				5	5	1			11
北米	アメリカ合衆国	18			6	10		1		1	18
合計		233	11	18	41	100	78	34	8	1	262

## 【さくらオンラインプログラム】

(単位：人)

国・地域	属性	参加者属性			合計
		大学院生	教員	研究者	
東南アジア	カンボジア王国	8	1		9
	ベトナム社会主義共和国	33	6		39
	ミャンマー連邦共和国	2	1		3
	ラオス人民民主共和国	3	1		4
東アジア	中華人民共和国			20	20
合計		46	9	20	75

## 2022年度第4回公募採択結果 機関別 採択件数

## 【さくら招へいプログラム】

大学

(単位：件)

No.	受入れ機関名	採択数
1	秋田大学	1
2	岡山大学	2
3	北見工業大学	1
4	島根大学	1
5	筑波大学	1
6	東京農工大学	2
7	東北大学	2
8	長崎大学	2
9	大阪公立大学	2
10	横浜市立大学	1
11	関東学院大学	1
12	芝浦工業大学	2
13	崇城大学	1
14	中央大学	2
15	新潟医療福祉大学	1
16	日本大学	1
	計	23

高専

No.	受入れ機関名	採択数
1	函館工業高等専門学校	1
2	サレジオ工業高等専門学校	1
	計	2

高校

No.	受入れ機関名	採択数
1	茗溪学園中学校高等学校	1
	計	1

法人

No.	受入れ機関名	採択数
1	国立研究開発法人海洋研究開発機構	1
2	国立研究開発法人森林研究・整備機構	1
	計	2

企業

No.	受入れ機関名	採択数
1	ファイザーR&D合同会社	1
	計	1

採択機関数：22機関

採択件数：29件

## 2022年度第4回公募採択結果 機関別 採択件数

## 【さくらオンラインプログラム】

大学

(単位：件)

No.	実施機関名	採択数
1	京都工芸繊維大学	1
	計	1

法人

No.	実施機関名	採択数
1	一般社団法人日中協会	1
	計	1

採択機関数：2機関

採択件数：2件

## 2022年度 国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム） 一般公募プログラム概要

### 1. 事業の目的

「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」は、産学官の緊密な連携により、日本の青少年と海外の国・地域の青少年との科学技術分野の交流を通して、

- ①科学技術イノベーションに貢献しうる優秀な人材の養成・確保
- ②国際的頭脳循環の促進
- ③日本と海外の教育研究機関間の継続的連携・協力・交流
- ④科学技術外交にも資する日本と海外の国・地域との友好関係の強化

に貢献し、ひいては、日本および世界の科学技術・イノベーションの発展に寄与することを目的とします。

### 2. 対象とする国・地域

原則としてすべての国・地域を対象とします。

### 3. 対象とする分野・テーマ

科学技術（自然科学、人文科学および社会科学）分野の交流全体を対象とします。

### 4. 一般公募プログラム

#### 【さくら招へいプログラム】

交流計画の目的や内容に応じて、科学技術体験コース（Aコース）、共同研究活動コース（Bコース）、科学技術研修コース（Cコース）から選択します。招へい前・後にオンライン交流を付加した実施を推奨します。招へいの実施が困難となった場合には、オンライン交流をその代替とすることを採択の要件とします。

#### （1）科学技術体験コース（Aコース）

日本の先端的な科学技術に触れる機会と日本の研究者・学生などとの交流体験を通して、科学技術分野における継続的な交流を促進するものです。

- ・滞在期間：原則として上限7日間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：単一機関から招へいする場合は、10人を限度とし、複数の機関から招へいする場合は15人を限度（ただし、1機関からの招へいが10人を超えないこと）とします。

#### （2）共同研究活動コース（Bコース）

国際共同研究のテーマもしくは計画の策定、予備的な実験などの共同研究を開始する活動、あるいは具体的な共同研究に参加させる活動を対象とします。

- ・滞在期間：原則として上限3週間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：原則として10人を限度とします。

### (3) 科学技術研修コース (Cコース)

送出し国・地域のニーズあるいは地球規模課題の解決に資する科学技術に関する具体的な技術・能力の習得機会を提供する活動を対象とします。

- ・滞在期間：原則として上限10日間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：原則として25人を限度とします（複数の国・地域から招へいする場合）。

※なお、1つの国・地域から招へいする場合の招へい人数は15人、1つの国・地域かつ1機関からの招へいの場合の招へい人数は10人を限度とします。

#### 【さくらオンラインプログラム】

オンラインだからこそできるシリーズ的・継続的に実施する交流。日本の実施機関と海外の参加機関（相手機関の参加人数が10名以上）によるオンライン交流を計5日以上実施します。

## 5. 招へい者・参加者の要件

対象は、高校生、大学生、大学院生、ポスドクター、教員などです。招へいの場合には原則として日本に初めて滞在することになる40歳以下の方が対象となり、オンライン交流の場合には来日経験は問いません。

## 6. その他

さくらサイエンスプログラムについては、ウェブサイトやFacebook、YouTubeを通じて最新情報を発信しています。また、ウェブサイトに掲載の「活動レポート」については、過去に採択した交流計画に関し、受入れ機関や招へい国、招へい者所属機関の属性（大学・高校・高専など）、コース名を入力することで簡単に報告を検索できます。ぜひご覧ください。

- ・ウェブサイト：<https://ssp.jst.go.jp/index.html>
- ・Facebook：<https://www.facebook.com/sspjapan>
- ・YouTube：[https://www.youtube.com/channel/UCTpHtASQ7JzM2Vh683D\\_uPQ/featured](https://www.youtube.com/channel/UCTpHtASQ7JzM2Vh683D_uPQ/featured)

以上